

# 朝日町教育委員会2月臨時会会議録

## 1 日 時

令和6年2月6日（火）午前9時20分から午前11時まで

## 2 場 所

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」会議室

## 3 出席委員

教 育 長	堀 俊 一	(以下「教育長」という。)
1 番 委 員	五十嵐 義 一	(以下「議長」という。) 職務代理者
2 番 委 員	井 上 幸 弘	(以下「2番委員」という。)
3 番 委 員	橋 間 博 美	(以下「3番委員」という。)
4 番 委 員	海 野 睦	(以下「4番委員」という。)

## 4 職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長	伊 藤 淳	(以下「課長」という。)
主 幹	高 橋 昭 彦	(以下「主幹」という。)
課長補佐兼学校教育係長	菊地 早百合	(以下「補佐」という。) 書記
主 査	佐久間 淳	(以下「主査」という。)
生涯学習係長	白 田 淳	(以下「係長」という。)
指 導 主 事	齊 藤 絵 里	(以下「指導主事」という。)

## 5 会 議

### ① 開 会

課長より、開会宣言

### ② あいさつ

教育長より、あいさつ

### ③ 会議録署名委員指名

課長より、4番委員を指名したい旨を諮り委員全員が了承

### ④ 協議事項

議 長	-	義務教育学校 測量及び基本計画策定支援業務の調査結果について説明を求めた
課長・主査	-	資料により説明
議 長	-	説明について各委員の意見を求めた
2番委員	-	この結果で、緑が丘公園北側に変更するとして令和10年度開校に間にあるのか
課 長	-	間に合うよう進めたい。地盤の調査がこれからになるが、改良に一定期間がかかり軟弱地盤だと1年位寝かせることになる。早めに場所を決めて動きたい。
2番委員	-	軟弱地盤で相当時間と費用がかかり、かなり大変なのではないか。令和10年度開校が一步も動かせないととなると完成するのか心配。創設準備委員会では町の中心でなくてもいい、大谷小周辺を有効に使ってもいいのではという意見があった。町議会議員が独自に戸沢村や飯豊町、県外等にも視察

に行っているようだ。学校が一つになることは賛成だが、建設費が30億円から60億円ほどになることに加え、今後新たな用地取得にも多額の費用がかかるのでは、慎重に考えないとうまくいくこともうまくいかなくなると思う

- 3番委員 - 説明を受けて、学校を建設するのは本当に大変だと思った。2番委員の意見のとおり、建設場所を代えても、田んぼであれば地権者の意向もあり、建設に時間がかかる。今後費用がもっとかさむかもしれない。どこに建設するのか、説明を受けた候補地で果たしていいのか。箱ものの建設は大事だが、子どもたち、人を育てることを考えると、候補地でいいのかと思う。コンパクト化すると費用がどれくらい減らせるのか気になる
- 4番委員 - 緑が丘公園周辺は、現在の中学校よりいいと思ったが、地盤改良・費用・時間などどれくらいかかるのか見当がつかない。不安な感じがする。大谷小の校舎は魅力的で使えればいいと思う。町の中心地から離れていることを補えればなんとかならないか。あるものを使用して、時間や費用などを抑えて他を重要視して決めていくのもいいと思う
- 議長 - 義務教育学校は賛成である。大谷小の活用はいいと思うが、西部地区、中部地区の合意形成が図られるのか。事務局案に賛成である
- 教育長 - 新しい学校に通う子どもたちは宮宿地区の子が多く、徒歩でも登校できる。宮宿地区に建設が妥当と考える。令和10年度開校を変えず、逆算して対応していく。大谷小の使用もいいが、学年を超えたごちゃまぜラーニングのように、固定化されたものでなく様々な人との関わりが重要なことであり、下の子たちを面倒みるなどを通じ、存在意義や役立つ人間につながる。大谷小の校舎でもそれが出来ないわけでないが、小学校に増築すると、昔の大谷小・大谷中のように分かれてしまう。義務教育学校の姿・目的に折り合いがつけられるか不安である
- 2番委員 - 緑が丘公園北側は、18人の地権者がいるが優良農地で一生懸命に耕作しているので、用地交渉は簡単にはいかないと思う。また地盤が公共的に使用できるようになるには莫大な費用がかかるのではないかと
- 議長 - この協議は委員の合意形成がいるのか。説明を受けて終わりか
- 課長 - 令和10年度の開校を目指す、用地が決まらなると先に進められない。早めに候補地を決めて進めたい。この協議では了承等の回答を出してもらいたいと思う
- 議長 - 議会に対しては、現在の中学校用地を断念と次の候補地の話をするようになると思うが、今後どんな流れになるかわからない。いろいろな意見が出ると思う
- 課長 - 2月9日の町議会全員協議会で了承いただき進んでいきたい。財政見直し、シミュレーションについても説明していく
- 主査 - 候補地について18人の地権者はほとんどが貸しており、自身が耕作しているのは少数である
- 3番委員 - 用地については関係者それぞれ心情的な意見が出てくると思う
- 教育長 - 段取りを間違えないように、スケジュールを組んでやっていく
- 課長 - 今一度、各委員より不安と感じていることを確認したい
- 3番委員 - 子どもを育てる場所にこだわらない。予算について大丈夫なのか。気持ちはみんな一緒であると思うのでバックアップしていく
- 2番委員 - 候補地は圃場整備が済んだ優良農地である。町の農地で一番いい場所、米

価は低いが、食糧確保の面からも転用していいのか。軟弱地盤かもしれないし、現在の中学校用地がだめなら既存の土地でだめなのか。農地、地盤、費用等の面からしても課題について早急に調べ直してほしい

- 課 長 - 地盤・地質調査や測量について令和6年度補正予算で対応していく
- 2番委員 - 山形市南沼原小学校は寝かせた田んぼより建設したので参考になると思う
- 教 育 長 - 財源についてだが、保有控除の有無で町債が変わるが、借金の内、過疎債に利用でどれくらい返済することになるのか
- 主 査 - 過疎債は借りた金額の70%が地方交付税で戻るので負担は30%になる。33億円についてすべて過疎債でいけるのかは今のところ不明だが、学校教育施設等整備事業債（学教債）というものがあり、これは60%が交付税算入となり20億円ほどは戻る。残りの13億円から15億円は20年位で償還する。実質負担は40%ほどになる
- 2番委員 - 全員協議会の結果にもよるが、ボタンの掛け違いにならないようまた方向を間違わないように協力してやっていこう
- 課 長 - 全員協議会でも財政シミュレーションを示していく。今後とも各委員の協力をよろしくお願いしたい

⑤ その他

- 4番委員 - 2月2日に朝日中学校へパトカーが来た件について質問
- 指導主事  
主 幹  
教 育 長 - 状況及び経過について説明

⑥ 閉 会

課長より、閉会宣言、午前11時に2月臨時会の会議を閉会

会議録署名委員 海 野 睦

教 育 長 堀 俊 一

調 製 職 員 菊 地 早 百 合